

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程の概要															
(薬学研究科 医療薬学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置				備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教			
医療薬学コース科目	分子病態解析学科目	病態医化学特論	1・2・3・4前	1		○			1				兼3	隔年開講 複数教員共同	
		神経科学特論	1・2・3・4後	1		○			1				兼1	隔年開講 複数教員共同	
		炎症再生医学特論	1・2・3・4前	1		○			1				兼1	隔年開講 複数教員共同	
		分子病態解析学セミナー	1~4通	8		○			1						
		小計 (4科目)	—	0	11	0	—		4	0	0	0	兼5		
	分子薬効解析学科目	分子薬剤治療学特論	1・2・3・4後	1		○			1					隔年開講	
		組織・器官機能研究法特論	1・2・3・4後	1		○			1					隔年開講	
		蛍光イメージング研究法特論	1・2・3・4後	1		○			1				兼2	隔年開講 複数教員共同	
		分子薬効解析学セミナー	1~4通	8		○			1						
		小計 (4科目)	—	0	11	0	—		4	0	0	0	兼2		
	薬物療法解析学科目	薬物送達学特論	1・2・3・4後	1		○			1					隔年開講	
		医薬品薬効動態学特論	1・2・3・4前	1		○			1					隔年開講	
		ゲノム情報薬学特論	1・2・3・4後	1		○			1					隔年開講	
		分子腫瘍学特論	1・2・3・4前	1		○			1				兼1	隔年開講 複数教員共同	
		がん薬物療法学特論	1・2・3・4後	1		○			1				兼2	隔年開講 複数教員共同	
		臨床分子薬品学特論	1・2・3・4前	1		○			1					隔年開講	
		薬物療法解析学セミナー	1~4通	8		○			1						
	小計 (7科目)	—	0	14	0	—		4	3	0	0	兼3			
	実習科目	医療薬学特別研究 (分子病態解析学)	1~4通		16				○	3			1		複数教員共同
		医療薬学特別研究 (分子薬効解析学)	1~4通		16				○	2					複数教員共同
		医療薬学特別研究 (薬物療法解析学)	1~4通		16				○	3	4				複数教員共同
		小計 (3科目)	—	0	48	0	—		8	4	0	1	兼0		
	生命薬学コース科目	創薬基盤薬学科目	薬品構造生物化学特論	1・2・3・4前	1		○			1					隔年開講
			創薬有機化学特論	1・2・3・4前	1		○			1					隔年開講
			天然物化学特論	1・2・3・4後	1		○			1					隔年開講
			生薬資源科学特論	1・2・3・4前	1		○			1					隔年開講
			医薬品化学特論	1・2・3・4後	1		○			1					隔年開講
創薬分子科学特論			1・2・3・4前	1		○			1					隔年開講	
創薬基盤薬学セミナー			1~4通	8		○			1	1				複数教員共同	
小計 (7科目)			—	0	14	0	—		5	3	0	0	兼0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		
生命薬学コース科目	生命機能科学科目	生命分子化学特論	1・2・3・4前	1		○				1				隔年開講
		代謝生化学特論	1・2・3・4前	1		○				1				隔年開講
		遺伝子機能解析学特論	1・2・3・4後	1		○			1	1				隔年開講 複数教員共同
		応用生化学特論	1・2・3・4前	1		○			1	1				隔年開講 複数教員共同
		生命機能科学セミナー	1～4通	8		○			1					
	小計（5科目）	—	0	12	0	—			3	4	0	0	兼2	
実習科目		生命薬学特別研究 （創薬基盤薬学）	1～4通		16			○	4	3				複数教員共同
		生命薬学特別研究 （生命機能科学）	1～4通		16			○	2	3				複数教員共同
		小計（2科目）	—	0	32	0	—		6	6	0	0	兼0	
共通科目	講義科目	国際研究活動特論	1・2・3・4前		1		○						兼1	隔年開講
小計（1科目）		—	0	1	0	—		0	0	0	0	兼1		
合計（33科目）		—	0	145	0	—		14	10	0	1	兼13		
学位又は称号		博士（薬学）		学位又は学科の分野			薬学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
<p>修了要件は、所定の授業科目の単位を合計30単位以上取得し、博士論文を提出してその審査および最終試験に合格することである。博士論文は研究の新規性、論理性、独創性、国際貢献度等について審査を行う。最終試験は、学位論文を中心として、これと関連ある分野の学識と研究指導能力について、口頭又は筆答により行う。</p> <p>◎医療薬学コース 特論科目は医療薬学コースから1科目1単位として4単位を選択必修する。セミナーについては1科目8単位として、医療薬学コースの各セミナーから1科目を選択必修する。特別研究（研究指導科目）については1科目16単位として、医療薬学コースの特別研究から1科目を選択必修する。これら以外の特論科目については医療薬学コースと生命薬学コース及び共通科目から自由選択する。</p> <p>◎生命薬学コース 特論科目は生命薬学コースから1科目1単位として4単位を選択必修する。セミナーについては1科目8単位として、生命薬学コースの各セミナーから1科目を選択必修する。特別研究（研究指導科目）については1科目16単位として、生命薬学コースの特別研究から1科目を選択必修する。これら以外の特論科目については医療薬学コースと生命薬学コース及び共通科目から自由選択する。</p>						1学年の学期区分		2期						
						1学期の授業期間		15週						
						1時限の授業時間		90分						

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。